

結 果 報 告

| | | | | | |
|-------|-------------------------|----------|--------------|------|---|
| 大会名 | 平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会 | | | | |
| 競技日 | 12月22日(木) | 試合番号 | ソ | 回戦 | 3 |
| 種別 | 男子・女子 | 会場 | 伊勢丹八王子・駒沢体育館 | | |
| Aチーム | | | Bチーム | | |
| HC和歌山 | | | 琉球コラソン | | |
| 得点合計 | 小計 | | 小計 | 得点合計 | |
| 17 | 8 | 前半 | 18 | 32 | |
| | 9 | 後半 | 14 | | |
| | | 第1延長(前半) | | | |
| | | 第1延長(後半) | | | |
| | | 第2延長(前半) | | | |
| | | 第2延長(後半) | | | |
| | | 7mTC | | | |

【 戦 評 】

記載者氏名

井上 裕太

順当に2試合を勝ち上がってきたHC和歌山対今回万全な体制で沖縄から東京へ乗り込んで来ている琉球コラソンとの試合。立ち上がりからエンジン全開の琉球コラソン、石川のロング、牧山のサイド、連のポストシュートと4連取する。15分過ぎ、この日2枚目のイエローを受け琉球コラソン趙が退場処分となる。このチャンスを活かしたいHC和歌山だったが相手に一点取られ10対4と6点差をつけられてしまう。その後も琉球コラソンの名嘉、三村の速攻が決まり点差をつける一方、HC和歌山は琉球コラソンのディフェンスを最後まで崩すことが出来なかった。後半開始早々、三村の鮮やかなカットイン、速攻と琉球コラソンが得点を重ねる。HC和歌山も安松のポストシュート、本田の速攻などで得点するがなかなか差を縮めることが出来ない。終盤に入り永井のロング、カットインなどで得点を取り、食い下がったHC和歌山だったが最後まで得点を縮めることが出来なかった。終わってみれば32対17で琉球コラソンが強さを見せつけた。社会人クラブチームとして唯一3回戦まで進んだHC和歌山だったが、ここでコートを去る事となった。